

会社の概要／株式情報

会社概要 (2025年12月31日現在)

社名 クリヤマホールディングス株式会社
 英文社名 KURIYAMA HOLDINGS CORPORATION
 創業 1939年4月5日
 設立 1940年12月21日
 本店所在地 大阪市中央区城見1丁目3番7号
 資本金 7億8,371万6,600円
 連結子会社 30社
 従業員数 1,893名(連結)

役員 (2026年3月25日現在)

代表取締役CEO 社長執行役員	小 貫 成 彦
取締役 常務執行役員	大 村 暢 彦
取締役 上席執行役員	Brian Dutton
取締役 監査等委員 (常勤)	花房 一 郎
取締役 監査等委員 (社外)	酒 谷 よし 弘
取締役 監査等委員 (社外)	齋 藤 ゆ き 紀
取締役 監査等委員 (社外)	小 林 めぐみ 恵

株式の状況 (2025年12月31日現在)

発行可能株式総数 73,600,000株
 発行済株式の総数(自己株式2,130,811株を除く) 20,169,389株
 株主数 11,111名

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月
 基準日 定時株主総会…12月31日
 剰余金の配当…期末 12月31日
 中間 6月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)

上場金融商品取引所 東京証券取引所 スタンダード市場

公告方法 電子公告の方法により行います。
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
 当社の公告掲載URLは次のとおりです。
<https://www.kuriyama-holdings.com>

証券コード 3355

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株主優待について

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式の投資魅力を高め、より多くの投資家の皆様に当社株式を中長期にわたり継続的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を再開いたします。

対象となる株主様	株主優待の内容		
毎年12月31日現在の株主名簿に記載され、かつ当社株式200株以上を継続して1年以上保有する株主様を対象としております。	保有株式数 200株以上 1,000株未満	継続保有期間 1年以上3年未満 3年以上	優待内容 クオカード1,000円分 クオカード2,000円分
	1,000株以上 2,000株未満	1年以上3年未満 3年以上	クオカード2,000円分 クオカード4,000円分
贈呈の時期 毎年3月下旬の発送を予定しております。	2,000株以上	1年以上3年未満 3年以上	クオカード4,000円分 クオカード8,000円分

当社オリジナルクオカード



証券コード 3355

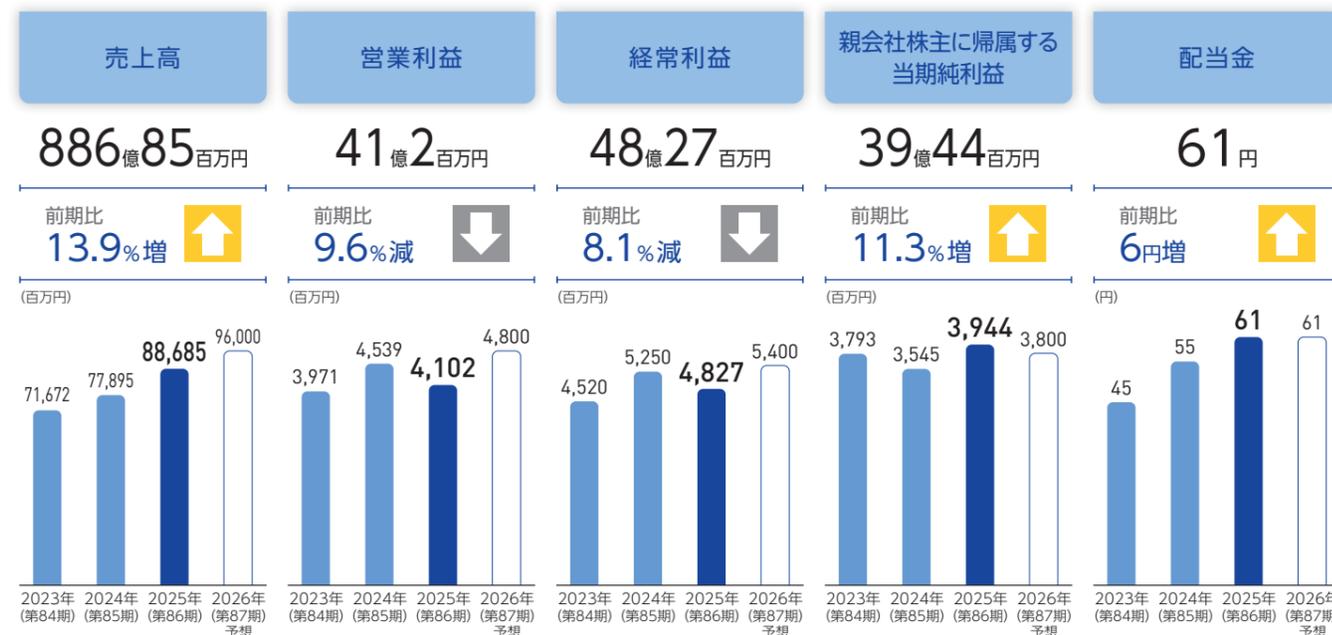
KURIYAMA REPORT

第86期 [2025.1/1→2025.12/31]



KURIYAMA
 クリヤマホールディングス株式会社

2025年12月期 決算ハイライト



2026年12月期 業績予想



株主アンケート

みなさまの 声 をお聞かせください

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

抽選でギフト券を進呈!



コエキク

サービス運営会社：株式会社プロネクサス お問い合わせ：コエキク事務局 koekiku@pronexus.co.jp



詳細は、当社ホームページに掲載されている「IR情報」をご覧ください。
<https://www.kuriyama-holdings.com/ir.html>



ごあいさつ ~持続可能な社会づくりに貢献する企業グループを目指して~

第86期連結会計年度の経営概況及び業績について

当連結会計年度における世界経済は、米国では新政権による関税を含めた政策運営の影響により、不安定かつ軟調に推移しました。欧州では中央銀行が利下げを進める中、一部に米国の追加関税を見据えた駆け込み需要等がみられたものの、力強さを欠きました。また、ロシア・ウクライナ情勢や中東情勢等の地政学リスク等、依然として先行き不透明な状況が続いております。為替相場については、概ね円安基調で推移しました。

このような経済状況の中、当社グループは、人財育成やグループ内連携による営業力の強化、物流体制の最適化等により、国内外での需要の着実な取り込みと利益確保に努めました。また、2025年2月には、産業資材事業におけるメーカー機能の強化と事業ポートフォリオの最適化、スポーツ・建設資材事業での総合提案力の向上、人材交流促進による研究・開発分野における新しい付加価値の創造等を目的に、株式会社ミトヨのグループ化を決定し、4月に完了しました。加えて、3月には、創業100周年を迎える2039年と、その次の100年に向けた成長の実現を目指し、長期構想「KURIYAMA MANAGEMENT PLAN(KMP)2039」を具体化した中期経営計画「KMP Action1(2025~2027年)」及び「KMP Action2(2028~2030年)」を公表しました。

この結果、当社グループの連結売上高は886億85百万円(前期比13.9%増)、営業利益は41億2百万円(前期比9.6%減)、経常利益は48億27百万円(前期比8.1%減)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益として負ののれん発生益6億40百万円を計上したこと等から39億44百万円(前期比11.3%増)となりました。また、自己資本利益率(ROE)は8.4%となりました。

2025年12月期の配当金(増配)について

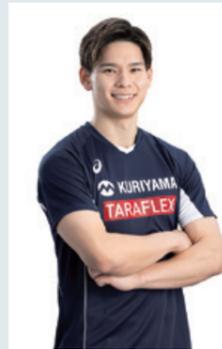
当社は、長期的かつ安定的な株主づくりを最重要課題の一つとして認識し、経営成績と内部留保のバランスも配慮しながら、株主への利益配当を継続的に実施することを基本方針としております。そして、2025年3月12日付「中期経営計画の策定と資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ」の通り、経営成績、財政状態、投資計画等を総合的に勘案したうえで、連結配当性向30%以上、株主資本配当率(DOE)3.0%以上を目指すことといたしました。この方針に則り、当社の経営成績、財政状態等を総合的に勘案した結果、当期末の普通配当を33円とし、年間配当は前期に比べ1株につき6円増配の61円と決定いたしました。



クリヤマホールディングス株式会社
代表取締役CEO 小貫 成彦

TOPICS

1 西田有志選手が「TARAFLEX」アンバサダーに就任！ ~TVCM(3篇)を2026年4月以降に公開~



当社は、日本男子バレーボール選手の西田有志選手を、「TARAFLEX」のアンバサダーとしてお迎えいたしました。

「TARAFLEX」は、当社が国内唯一の総代理店として取り扱う世界基準の屋内スポーツ用長尺弾性塩ビシートで、国際バレーボール連盟をはじめ、数多くの国際競技団体から公認を受けた、高い安全性と競技性を兼ね備えた床材です。

西田選手が所属する「大阪ブルテオン」の練習拠点であるパナソニックアリーナでも採用されており、西田選手が「TARAFLEX」の上で繰り広げる力強いジャンプや機敏な動きなどの高いパフォーマンスを「TARAFLEX」が支えています。更に、西田選手がチームのキャプテンとして、「世界最高峰のクラブ」を目指して世界に挑み、ひたむきに努力し続ける姿や、情熱的な表情とプレーで人々を魅了する存在感は、まさに当社が目指すべき姿と重なります。このことから、この度、「TARAFLEX」の

ブランディング強化に伴い西田選手にアンバサダーとしてご就任いただく運びとなりました。

また、今回のアンバサダー就任に伴い、TVCM3篇を制作いたしました。4月以降のCM放映に併せて、当社ホームページや公式YouTubeでも公開予定ですので、ぜひご覧ください。

当社は、今回のブランディング強化を機に、世界大会やトップアスリートの舞台でも使用される「TARAFLEX」を地域や学校の体育館へ広く普及させ、皆様に安全で快適なスポーツ環境を提供してまいります。



2 世界三大建機展「CONEXPO」に出展 ~アジアにおける産業資材事業の北米展開に向けて~

当社孫会社の「株式会社サンエー」(本社:広島県三次市、代表取締役社長:山本 真生、以下、「サンエー」)と中核事業会社の「Kuriyama of America, Inc.」(本社:米国イリノイ州、代表取締役社長:Brian Dutton、以下、「KOA」)は、2026年3月3日から7日まで米国ラスベガスで開催された「CONEXPO-CON/AGG 2026」に出展いたしました。

「CONEXPO-CON/AGG 2026」は、3年に1度開催される世界三大建機展の1つで、世界中の主要メーカーが最新技術・製品・ソリューションを披露する北米最大規模の建設機械見本市です。

本展示会では、サンエーとKOAが共同出展し、2カ所の展示エリアで、KOAのホース製品に加え、当社がアジアの建機・農機向け顧客に展開するサンエーの尿素SCR関連製品を中心とするラインナップを紹介いたしました。

今回の出展は、当社が日本国内で培った産業資材事業の実績、経験、技術を最大マーケットである北米へ展開するための重要な機会となりました。

今後は、より一層グループ内での連携を強化し、産業資材事業のグローバル展開を推進することで、マーケットシェアの拡大を図り、持続的な成長を目指してまいります。



セグメントのご紹介

アジア事業

事業のご紹介

アジア中核事業会社のクリヤマジャパン株式会社が、複数の子会社や関連会社と連携しながら、独自の事業セグメントを形成し、建機・農機メーカーのグローバルTier1サプライヤー、商業施設やスポーツ施設の総合床材メーカーとして、多角的に事業を展開しております。



当期の概況



売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



- 産業資材事業では、建機・農機等の生産台数が若干の回復がみられたため、尿素SCR用モジュール・タンクや各種樹脂・ゴム製品等の販売が増加しました。また、中国においては、景気低迷により建機生産台数が停滞したものの、取り扱い商材の幅を拡げたことで、同国での関連商材の販売が増加し、増収増益となりました。
- スポーツ・建設資材事業では、主力の体育館用床材の販売が減少したものの、文教施設向けの人工芝や、鉄道施設向けのホーム先端タイルの販売が増加し、さらに商業施設向け床材等の販売が堅調に推移したことから、増収増益となりました。

北米事業

事業のご紹介

産業用ホースメーカーとして、様々な用途向けのホース及び継手を取り揃えております。北米・中米の各地に生産工場、販売拠点、倉庫を配置し、製販・物流の一貫したサービスにより、様々な業種向けにホースを提供しております。



当期の概況



売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



- 米国新政権の関税政策による不透明感が継続する中、物流機能の最適化を推進したことで、各種ホース・継手の販売が堅調に推移し、増益となりました。
- 損益面では、カナダの物流倉庫の移転に伴う費用の増加等により、減益となりました。

欧州・南米・オセアニア事業

事業のご紹介

ゴム及びウレタン製のレイフラットホース・ノズルのメーカーとして、生産工場をスペイン・アルゼンチンに配置しております。欧州域内に加え、北米・南米及びオセアニア地域における販路を拡大しております。



当期の概況



売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



- 南米のオイルガス関連向け販売が増加したものの、主力の欧州域内消防機関向けの消防用ホースの販売が軟調に推移したことから減収となりました。
- 損益面では、アルゼンチンの子会社に対する超インフレ会計適用によるマイナス要因が利益を圧迫し、減益となりました。

KURIYAMA Information

当社所属プロゴルファー佐藤大平プロが悲願のツアー初優勝！

当社所属のプロゴルファー、佐藤大平プロが、2025年10月30日から11月2日まで成田ヒルズカントリークラブ(千葉県)で開催された「フォーティネットプレイヤーズカップ2025」において、見事ツアー初優勝を果たし、本大会の初代王者となりました！

兵庫県宝塚市出身の佐藤プロは、「全国中学校ゴルフ選手権」優勝、「関東高等学校ゴルフ選手権」連覇、学生時代には「ユニバーシアード」でナショナルメンバーとして金メダルを獲得するなど、数々の輝かしい実績を誇っております。2018年より当社に所属し、何度も優勝争いに絡みながら安定した成績を積み重ね、プロとしての11年目ですいに悲願のツアー初優勝を飾りました。

当社は、初優勝を機にさらなる高みへの飛躍が期待される佐藤プロを今後も応援し、サポートしてまいります。



©JGTOimages